

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-96631(P2003-96631A)

【公開日】平成15年4月3日(2003.4.3)

【出願番号】特願2001-289070(P2001-289070)

【国際特許分類第7版】

D 0 2 G 1/02

D 0 3 D 15/04

D 0 4 B 1/20

D 0 4 B 21/00

【F I】

D 0 2 G 1/02 Z

D 0 3 D 15/04 1 0 2 B

D 0 4 B 1/20

D 0 4 B 21/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月10日(2004.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

糸条Aと糸条Bが共にSZ交互撚糸であり、糸条Aと糸条Bが引き揃えられてSZ交互撚り構造を形成すると共に、糸条Aを構成する単纖維と糸条Bを構成する単纖維とが部分的に融着部を形成していることを特徴とする特殊仮撚加工糸。

【請求項2】

共にSZ交互撚糸である糸条Aと糸条Bとを合糸して仮撚加撚域へ供給し、糸条Aを構成する単纖維及び又は糸条Bを構成する単纖維に融着を生じさせる温度で仮撚加撚することを特徴とする特殊仮撚加工糸の製造法。

【請求項3】

請求項1に記載の特殊仮撚加工糸で一部又は全部が構成された織編物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【発明の実施の形態】

本発明の特殊仮撚加工糸において、加工糸を構成する糸条Aと糸条Bとが共にSZ交互撚糸であることと、糸条Aと糸条Bが引き揃えられてSZ交互撚り構造を形成することが必要である。糸条Aと糸条Bには単纖維が揃った集束構造を有している撚り部がそれぞれ存在し、更に糸条Aと糸条Bとが引き揃えられて形成されたSZ交互撚り構造が、諸撚糸の上撚りに相当するものとなり、本発明の特殊仮撚加工糸は、諸撚糸様のハリ・コシ、ふくらみ感、ドレープ性を織編物に付与することが可能な加工糸をなしている。なお、本発明において、SZ交互撚

糸或いはS Z交互撚り構造とは、糸長手方向にS撚り部とZ撚り部が交互に形成されている糸条或いは構造をいう。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

本発明の特殊仮撚加工糸の製造法においては、糸条Aを構成する単纖維及び/又は糸条Bを構成する単纖維に溶融を生じさせる温度で仮撚加撚を行うことが必要であり、単纖維に溶融を生じさせる温度で仮撚加撚を行うことにより、糸条Aを構成する単纖維と糸条Bを構成する単纖維とが部分的に融着部を形成させ、糸条Aと糸条Bが仮撚加撚方向と同方向に合撚された部分と、仮撚加撚方向とは逆方向に合撚された部分を形成することができる。